

一般財団法人全国大学実務教育協会
第8回「能動的学修の教員研修リーダー講座」
—学びの技法・授業デザイン・学修成果の評価—
ご案内

昨年度はコロナ禍により本講座を中止いたしました。参加予定だった皆さんにはご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。今年度は、感染対策を十分に講じた上でこれまでの対面方式により実施することになりました。感染状況によっては変更の可能性もありますが、奮ってご参加されますようお願い申し上げます。

開催趣旨

◇加速する大学教育の質的転換

いまわが国の高等教育は、従来の知識の伝達・注入を中心とした学修から学修者主体の能動的学修（アクティブラーニング）へと質的転換を求められています。文部科学省で検討され閣議決定された「第二期教育振興基本計画」（2013年）の下、国の補助事業に教育の質的転換、グローバル化などの組織的な取組みに対する支援が展開されてきました。社会の持続的発展を牽引するグローバル人材の育成を強調した「第三期教育振興基本計画」（2018年）にもそれは引き継がれています。また、他方では、3つのポリシーの義務化に伴い大学の内部質保証システムの構築が求められ、第三期の認証評価において重点項目として取り上げられ、大学教育の質的転換が一層加速化されることになりました。

◇能動的学修と本協会のこれまでの取組み

能動的学修は大学教育の質的転換の重要な柱となるものですが、本協会では早くから取り組んできました。

本協会が2013年度から新設した「実践キャリア実務士」（職業横断的な社会的職業的自立に必要なキャリア・実務実践力の教育課程）のほか、本協会の資格の能動的学修を基本とするものの多くが、その中核に「総合的実践実務」の学修を据えています。

◇能動的学修の成果を紡ぎ出す核となる教員の講座の開発

あらゆる科目において能動的学修への転換が必要になっていますが、最も大きな課題になるのは担当する教員が少ないという問題です。研究志向で養成されてきたわが国の大学教員において、能動的学修を効果的に実践できる人は決して多くありません。そのノウハウが蓄積され、教員同士で共有されていないという課題もあります。

そこで本協会では、この課題に資する「能動的学修の教員研修リーダー講座」を開発し、2014年度から実施（2020年度中止）してすでに160名を越える参加者を得ております。

◇能動的学修を体験できる講座内容

本講座では、豊富な事例のもと「学びの技法」と「授業デザイン」を中心に実践的な学びの場を提供します。更に「学修成果の評価」につきましては、教育の質保証の上で重要な役割を果たすルーブリックに基づく自己評価を含めて、講座の構成そのものから学べる形になっています。そして、数々の実践的な学びから、教員としての授業運営の仕方や能動的学修支援のあり方を体得することができる内容になっています。

開催要領

1. 日 時

集合研修 I-1 2021年9月25日(土) 9:30~17:30
I-2 2021年9月26日(日) 9:30~17:30
集合研修 II 2021年10月23日(土) 9:30~17:00

2. 会 場

アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京都千代田区九段北4-2-25 (Tel 03-3261-9921)

3. 講 師

清水 一彦 (山梨大学 理事・副学長)
関 憲治 (昭和女子大学 准教授) 他

4. 定 員

30名(先着順)

5. 参加費

120,000円 (消費税込み)
※お一人、昼食、テキスト代等含む

6. 修了証

講座修了者には修了認定証を交付します。

7. 参加申込

お申込み・お問い合わせにつきましては、次のe-mailアドレスまでお願いします。

お申込み・お問い合わせ専用メールアドレス E-mail: kouza@jaucb.gr.jp
締切日: **2021年8月10日(火)** TEL: **03-5226-7288**

8. 事前学習

お申込みの方に事前にテキストをお届けします。
精読の上ご参加ください。

9. その他

1校2名の参加をお勧めします。(情報共有、学内での実践活動に有効)